大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成３０年度　学校通信　平成３０年６月１４日　No.８

“1年生入学記念　花壇の花植”

６月５日に、１年生は入学記念として花壇の花植をしました。

美術室・技術室の横にある花壇は、平成27年４月の西部学校給食センター（わくわくランチ）開設記念として、給食センター建設工事にかかわった地元の田村燃料設備工業の社長田村様のご厚意

により造られた花壇です。その後も、田村様は毎年花の苗を提供してくださっております。

そこで、本校では１年生が入学記念として花植と花の管理を担当して、大切に育てています。今年も、提供いただいた花苗を１年生全員で植えました。花壇は、少し見えづらいところにありますが、給食センターの横をとおって音楽室前まで行くと、または、校内美術室・技術室からもご覧いただけます。ご来校の際は、ぜひ鑑賞してください。田村様、毎年ありがとうございます。

「フリー参観日」

今年度も「フリー参観日」を実施しました。

６月13日（水）と14日（木）です。午前８時45分から１校時の授業が始まり、午後２時まで教室を開いて参観していただきました。在校生がいなくても、地域の方であればどなたでも参観できるようにしておりました。

なお、13日は、午後３時から大曲仙北中学校総合体育大会に参加する選手の「壮行会」を行いました。西仙北小学校の６年生にも昨年に引き続き力強い激励をいただきました。ありがとうございました。

郡市総体壮行会

６月13日に、15日から始まる大曲仙北中学校総合体育大会に出場する選手の「壮行会」が行われました。

それぞれのユニファーム姿で、颯爽と入場した選手たちでした。各部の選手紹介と主将の意気込み発表の後、

応援団によるエール・激励、これまでの軌跡を記したムービーの上映、そして、西仙北小学校６年生からの力強い激励もいただきました。運動部を応援しようと練習に励んだ応援団のエールも立派でした、吹奏楽の激励演奏も迫力がありました。３年部職員プラスアルファの寸劇も選手たちを元気づけました。

生徒代表激励の言葉、校長の話、そして、互いに健闘を誓い合った選手、応援団でした。

各会場においても、声援をお願いいたします。

一人一研究授業　1年A組音楽科

本校の教員は、「一人一研究授業」ということで、

学校の研究主題「生徒が『分かる、できる、楽しいと実感できる授業』の実践、」～「つなぐ」を意識した学び合いを生かす授業の追究～の下、それぞれの教科等で授業を提示して、その授業を互いに見合って、よりより授業づくりに努めています。

８日は、音楽科の藤澤先生が、１年Ａ組において、「イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう」という題材で授業を提示しました。さまざまにイメージしながら音楽を鑑賞して、音楽を形づくっている要素とイメージがどのように結び付いているかについて考える授業でした。

曲想から受ける「恐怖」「不気味」「焦り」などの言葉が発表され、その要素は音楽の強弱、速度、リズム、音の高低などによるということに気付く生徒たちでした。

通学路合同点検

全国的に小・中学生等の通学時における交通事故防止等に係る取組が見られます。大仙市教育委員会でも通学路の安全確保に配慮してくれておりますが、本校の要望に対して、６月８日に合同点検を行ってくれました。

本校の今回の要望は、本校取り付け道路市道と国道13号線バイパスとの交差点（校門下からバイパスに出る地点）への信号機の設置要望です。この交差点は交通量が多く、特に、積雪時は路肩の雪壁により見通しもたいへん悪い状況が多い交差点です。本校保護者の方々には、送迎時の石名坂側からの一方通行をお願いしていることからも、この交差点への信号機の設置をお願いしました。

当日は、大仙警察署職員及び大仙市役所職員並びに大仙市教育委員会担当者による合同点検で、本校からはＰＴＡ池田副会長及び校長、教頭が立ち会いました。要望については、今後、朝の時間帯の交通量調査などを踏まえて審議されるそうです。費用対効果を求められる「量」の調査も分かりますが、少子高齢化の秋田県、我が地域においては、量そのものよりも、いかに事故を減らすかという観点での取組も必要と考えます。ご検討を期待します。

齋藤憲三･山﨑貞一顕彰会　研究助成

６月８日、本校生活文化部の科学研究班が、公益財団法人「齋藤憲三・山﨑貞一顕彰会」の研究助成認定証交付式に参加しました。当日は、生徒代表の佐藤さんと栗山先生が秋田市のホテルにおいて、認定証を授与されました。式典は、おいしい昼食付きだったそうです。

秋田県にかほ市平沢出身で、ＴＤＫ株式会社の創立者である齋藤憲三先生は、生涯科学技術の振興に努められ、その研究と実践に情熱を傾けて多大の功績を残されました。当公益財団法人は先生の高風を敬慕し、その事蹟を顕彰するとともにその意志を継ぎ、故前理事長山崎貞一（ＴＤＫ株式会社２代目社長）が中心となって昭和46年に設立されたものだそうです。

齋藤憲三先生の終生の念願であった科学技術の向上発展のためには、まず、少年時代から“科学する心”の芽を育成することが最も効果のあるものと考え、当公益財団法人はその事業の一つとして、秋田県の科学教育振興のため、毎年県内の小・中・高等学校・特別支援学校が推進する児童・生徒のグループ研究と教員の個人指導に対して助成金を贈呈しています。

秋田県内の国公私立小・中・高等学校（特別支援学校・定時制校等を含む）で児童・生徒の科学・技術する心の育成に、意欲的に取組む学校であり、本年度のテーマをもって、研究活動をしようとする児童・生徒のグループで、自然科学等理科に係わる具体的なテーマ（理科の学習指導要項にあげられている内容そのものの研究よりも、それらに関連する問題を、更に深く掘り下げるとか、あるいは、郷土の自然に関する研究テーマ等がのぞましい。）の下、研究するグループに助成金が贈られるものです。（公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成募集要項より）

なお、本校の研究は気象に関する研究です。

校地内の桜の木の手入れ

本校の校地内には、記念植樹された木が何本もあります。その一つに、平成６年に植樹された「昭和43年度刈和野中学校卒業生の42歳記念」の桜の木があります。６月10日に、その同期会の方々が、桜の木の手入れをしてくださいました。ありがとうございました。来年、また、きれいな花を咲かせてくれることと思っております。

教科書展示会　6/15～6/29

小・中・高等学校で使用される教科書の展示会が、６月15日から29日まで、大曲図書館で行われています。どうぞお立ち寄りください。